

平成31年電気学会全国大会 部門企画シンポジウム課題

	テーマ名 / 概要	提案委員会名	講演時間 (m)	時間枠 (h)	開催日	会場名
センサ・マイクロマシン部門 (E部門) 企画シンポジウム						
S 2 5	スマート社会に向けた高機能・高感度センサに関わるテーマ	マイクロマシン・センサシステム技術委員会, スマート社会に向けた高機能・高感度センサ技術に関する調査専門委員会	240	4	3月14日 午後	E棟 405
	<p>スマート社会に向けた高機能・高感度センサ技術は、IoT社会推進への期待の高まりと共にMEMSに代表される微細加工技術による高機能センシングデバイスなど注目を集めてきた。分光技術による高機能化や高感度磁界センシングによるモバイルデバイス応用など関心が高まっている。農業への応用する場合には、複数の環境センサを組み合わせたマルチセンシングなどセンサーシステムの構築が急がれているのが実情である。信頼性に加え、防災やネットワーク化技術も重要であり、分野横断的な研究開発が必須となる分野である。以上の理由から、産業界も含め会員外の講師に講演いただき、電気学会員にとって非常に有益な情報収集の場となると考え、当シンポジウムを提案する。</p>					
S 2 6	人間・生命を取り巻く水センシング技術	水センシングに関わる調査専門委員会	180	3	3月14日 午前	A棟 312
	<p>本調査専門委員会は、主にケミカルセンサ領域を主とし、水に関するセンシング技術の広範囲な領域を調査するために設置された委員会である。今日での「水」に関する調査内容の多くは、水を資源として捉えた内容のものがほとんどであり、水のセンシングデバイスといった観点から調査した例は非常に少ない。本委員会では、水に関するセンシング技術を調査し、加えて、その背景や対策技術など総合的な視点についても調査研究する。具体的には、水資源のみならず、飲料、医療、福祉（薬品・体液）など様々な分野において、幅広く液体を検知、測定するための技術を調査を行った。</p> <p>本シンポジウムでは、本委員会メンバーによって調査した内容を報告する。これからの水センシングの研究・開発において有益な内容となっている。</p>					